

# とんがらし通信



寒い季節もへっちゃら!!  
美味しいパンで

秋と言えば……  
食欲の秋!!

 No.242 

～主な内容～

- ・施設長コラム
- ・研修報告
- ・バザー
- ・職員コラム
- ・Close-up!
- ・活動報告（もみじ旅行、奈美まつり ほか）

ほか

仙台つどいの家編集室  
発行責任者 山口 収  
発行日 2019年11月25日  
〒983-0836 仙台市宮城野区幸町3丁目12-16  
Tel 022(293)3751 Fax 022(293)3752  
E-mail [sendai@tsudoinoie.or.jp](mailto:sendai@tsudoinoie.or.jp)  
ホームページ <http://www.tsudoinoie.or.jp>



## ハンセン病を知ること 人権を考えること の巻

ハンセン病元患者に対する差別と偏見に満ちた背景については、以前にもこのコラムで書きました。『無らい県運動』や根拠のない『強制隔離政策』の継続、『断種堕胎』など、ハンセン病患者を取り巻く、国を始めとした社会の理不尽な動きは筆舌に尽くしがたいものがありました。それは患者本人にとどまらず、ハンセン病患者を持つ家族にも深く重い十字架を背負わせる歴史でした。。。

先日、元患者そして元患者家族に対する救済に新たな動きがありました。11月15日、ハンセン病元患者家族への『補償法』と名誉回復を図る『改正ハンセン病問題基本法』が成立したのです。元患者本人に対する『謝罪』および『補償金支給法』施行から遅れること18年、ようやく元患者家族の名誉が回復される素地ができたこととなります。

元患者本人による訴訟では、2001（平成13）年に熊本地方裁判所が強制隔離政策を違憲として国に賠償を命じました。当時の小泉首相が控訴を見送ったため判決が確定し、元患者本人の被害を補償する『補償金支給法』が成立・施行されます。しかし、同じく地域で差別を受け続け苦しんできた元患者家族は補償の対象外とされました。

元患者家族の訴訟は2016（平成28）年2月、まずは九州・関西地区の家族59名が国を相手取り、損害賠償と全国紙への謝罪広告掲載を求めて提訴しました。その後の追加提訴により、最終的な原告団は561名にまで膨れ上がります。25名の原告本人尋問などを経て結審し、2019（令和1）年6月28日熊本地方裁判所の判決は『隔離政策によって患者家族に就学・就労の拒否、結婚差別などの重大な被害が生じた』と判断し、『遅くとも1960年には隔離政策を廃止する義務があったのに怠った』として国の立法不作為も認定する画期的なものでした。控訴期限の7月12日を待たず、7月9日に政府は控訴を断念し判決が確定しました。このたびの元患者家族の『補償法』『改正ハンセン病問題基本法』はこれらの判決の流れを汲み、議員立法で成立したものです。申請に基づき支給する額は、元患者の親子や配偶者に180万円、きょうだいに130万円など、これまでの精神的苦痛の代償としてはあまりにも安すぎる補償金ですが、強制隔離政策により家族が受けた苦痛や苦難に対する国会・政府による『反省』と『お詫び』が前文に明記されたことは、ひとつの区切りなのかもしれません。

しかし、国が過ちを認め謝罪したところで、元患者と家族のかけがえのない時間が戻ってくるわけではありません。元患者家族で原告のひとり提訴にあたってのコメントで次のように述べています。『私たち家族は、みんな長い間、ハンセン病になった家族のことをまわりに隠して生きてきました。自分の大切な家族のことを恥じなければならなかったり、いなかったものとしなければならなかったり、そのために、病気になったその大切な家族とのつながりを断ったり、家族らしく心を通わせることができなかつたりしました。私は、前から思っていたことだったのですぐに裁判を決意しました。けれど、おどろいたのは、561人ものがこの裁判を決意したことでした。みんなも、長い間苦しい思いを隠して生きてきたのだなあと感じました』。

多くの家族が、元患者の存在を理由に『離婚』や『放火』『いじめ』といった凄まじい人生被害を生きてきました。その元患者・家族の方々も高齢化が進んでいます。ハンセン病の歴史を正しく理解して、後世に伝えていくことも『いま』を生きる私たちの役割なのではないでしょうか。『無知』は『差別』を生みます。ハンセン病を知るとは『人権』を考えることにほかなりません。2020（令和2）年の『世界ハンセン病の日』は1月26日（日）です。

（管理者 山口 収）

# 仙台つどいの家

## バザー開催！！



10月12日（土）、毎年秋の恒例イベント、『仙台つどいの家バザー』を開催しました。当日は台風19号の影響で開催が危ぶまれましたが、みんなの願いが通じたのか午前中は小雨になり、天候が大きく崩れることがなかったため、時間短縮と規模縮小（外での販売はせず、館内のみの販売）という形で開催しました。天候によるお客さんの入りも心配されましたが、雨の中たくさんのお客さまに会場にいただき、改めて「仙台つどいの家のバザー」が地域に根付き、みなさま

に楽しみにしてもらっていることを感じる事が出来ました。バザーに来場していただいたお客さま、ありがとうございました！

バザーに向けて仙台つどいの家では、利用者と保護者会、職員が連携・協力しながら一丸となって、地域や企業、お店などへの物品提供募集のチラシ配布・ポスター掲示の依頼、各学校へのボランティア募集などの準備を進めてきました。地域の方々や企業さまからのご協力のもと、開催当日までにたくさんの物品を集めること出来ました。ご協力ありがとうございました。

今年は開催時間を短縮したこともあり予定時間より20分早く開始しましたが、次々とお客さまが来場され会場はあっという間にお客さまでいっぱいになり、たいへん賑わいました。来場していただいたお客さまからは、「毎年楽しみにしています！」など嬉しいお声もいただきました。食品の販売コーナーでは、今年も「さんまの炭火焼き」や「フランクフルト」、仙台つどいの家特製「豚すじカレー」の販売なども行い大盛況でした。また、利用者さんも出店という形でバザーに参加して、パン工房「喫茶めいぶる」の焼きたてパンやクッキーも大好評で、利用者さんと地域の方との交流の場にもなりました。



今回もボランティアに来ていただいた方には、販売コーナーなどで活躍していただきたいへん助かりました。仙台つどいの家は、多くのボランティアの方で支えられていますので、今後ともご協力をお願いいたします。

今年も地域の皆さまの多大なるご支援・ご協力をいただき、仙台つどいの家バザーを大盛況のうちに無事終えることが出来ました。今回のバザーで集まりました収益は、障がいのある方の地域生活の充実のために役立てさせていただきます。仙台つどいの家バザーは来年も引き続き行う予定です。来年も皆さまのご来場をお待ちしております。



（記：佐藤和）

# 荒川知子と

# ファミリーアンサンブル

11月5日の午後、仙台つどいの家ではとっても素敵なコンサートが開かれました！今回は「荒川知子とファミリーアンサンブル」さん。リコーダー奏者の荒川知子さんとフルート奏者の父、ピアノ奏者の母のご家族で結成されており、全国各地で活動されています。コンサートでは「キラキラ星」から始まりジブリ作品の曲や「小鳥」「ソレアード」等海外の曲と幅広い楽曲を歌や踊りを交えて演奏して下さいました。また、知子さんとお母様の繊細で素敵な歌声に酔いしれ、お父様の軽快なトークに笑顔が絶えず、その楽しい雰囲気を利用者の皆さんも手拍子をしたり、体を動かしてみたりと思い思いの時間を過ごしていました。



荒川知子とファミリーアンサンブルの皆さん、素敵な時間をありがとうございました！また心温まる演奏を聴ける日を楽しみにしています。(記：今川)



8月31日(土)横浜行ってきました！  
つどい

## 訪問の家「集」オープンフェスタ 2019



社会福祉法人訪問の家さんはずいぶん前からの仲よし法人。

震災後から横浜に呼んでもらってお祭りの時に仙台つどいの家の製品を販売させてもらっています。今年もありがたく甘えさせてもらって日帰りの小旅行気分で行ってきました！

**理事長さんとスタッフさんにご挨拶**

当日はどんなお祭りなの？出発は何時？帰りは何時ころ？お土産はどうする？ワクワクしながら計画を練っていました。あっという間に当日を迎えて気が付いたら販売も終わっていましたがおかげでオープンフェスタをゆっくりと楽しむことができました。



名里さん、鈴木さん、川端さん、スタッフの皆さん、今年も良くしてくれて本当にありがとうございました！

…その後は恒例…横浜お楽しみツアーへ！詳細はつどいの家ホームページ・ブローグー覧『愛子さん日記10』をご覧ください。とっても暑くて大変だったけど今年の夏の思い出は横浜と『集』とパンダまんできまりです。(記：堀内)



**15分で完売…お心遣いありがとうございました(涙)**



こちらは一泊でね！

## 横浜旅行に行ってきました～！



もみじグループ齋藤慎一さんの企画（想い）、「仲間と宿泊旅行がしたい」という4年超しの想いが実現しました。一緒に行く仲間

は同じグループの松田翠さんです。この日までミーティングを重ねて、八景島シーパラダイス、みなとみらい、中華街に行ってみよう！と横浜1泊2日の旅行計画を立てました。慎一さんが行ってみたいと想っていた八景島シーパラダイスでは、まるで水の中を歩いているかのように錯覚してしまう水中トンネルの水槽で、飛ぶように目の前を泳ぐペンギンを見ることができました。一番印象に残ったのは、慎一さん、翠さん、そして私もイルカの背中に触れたこと！じっと動かずに触らせてくれたイルカに、思わず「いい子だね」と話しかけてしまいました。慎一さん、翠さんの最高の笑顔はこのイルカとのふれあいの時でした。みなとみらいの夜景を堪能したル・グラン・ブルー号でのナイトクルーズでは、少し夜遊びした感覚で慎一さんも翠さんも非日常の体験ができました。2日目の朝、外は土砂降りの雨。きょうの行動はどうしよう・・・と思いながら、ホテル内にある日本料理の老舗「なだ万」で朝食。海の見える席で食事をいただいていると、風によって雲は流れ、いつの間にか雨は止み、陽の光が射してきました。サービスの行き届いた快適なホテルを後に中華街へと出発しました。一足早く横浜に日帰りで行った同じグループの仲間、櫻井賢治さんからもらった中華街マップをたよりに、小籠包、天津甘栗、台湾のパイナップルケーキ、北京ダック等々食べ歩きを楽しみました。お土産には『慎』と『翠』の文字を開運花文字で書いた額を買ってきました。もちろんスイーツもたくさん買いました。慎一さん、翠さん楽しい思い出ができましたね。（記：遠藤）

## 『奈美まつりバンザイ！』

けやきグループには、滝口奈美さんというお祭りが大好きな利用者さんがいます。様々なお祭りに参加してきた奈美さんが、今年度ついに



お祭りを主催することになりました。その名も『奈美まつり』です。このお祭りを開催するにあたり、けやきメンバー全員で、奈美さんってどんなことが好きかな？得意なことはなにか？みんなに楽しんでもらうには何をすると良い？と、どんなイベントにするか話し合いました。「物を飛ばすことが上手だね」「とにかく賑やかなことが大好きだね」「大漁旗を作るのはどうかな」とたくさんの意見が出ます。話し合っている間もみんなウキウキしてきてどんどん奈美さんの側に集まってきました。事前準備では、大きく奈美さんの笑顔の絵を描いた旗に、みんなの手形を押して仕上げていきます。

お祭り当日。はっぴを着たメンバーは気合十分！いつ始まるのかとソワソワしています。午前の部の『けやきパレード』では、奈美さんを先頭にけやきメンバー全員で廊下を練り歩きました。お祭りの音楽が聞こえ、だんだんと他のグループの方も集まってきて、旗を振ったり和太鼓を叩いたりみんなで大盛り上がり。奈美さんも休むこともなく、満面の笑みで歩きながら盛り上げていました。午後部の餅まきならぬ『お菓子まき』では、外に出て「奈美まつり、ばんざい！」の掛け声とともに奈美さんがお菓子をまき、みんなに幸せをプレゼントしました。とても盛り上がった『奈美まつり』。次はどんなイベントを企画しようかと、奈美さんもけやきのみんなもわくわくしています。今度は、ファッションショーかな？乞うご期待！（記：安藤）

## 個別支援計画とは？

9月下旬、盛岡で行われた東北地区知的障害者福祉協会専門研修に1泊2日で参加してきました！テーマは「個別支援計画」についてです。個別支援計画とは、本人のやりたい事やご自身にとって必要な事を組み立てて計画することで、仙台つどいの家の利用者さんも「自分が主役のお祭りを開きたい」や「世界各国の料理が食べたい」など思い思いの計画を立てています。

グループワークをして各県の支援員やサビ管の方と支援計画や支援について話し合ったり、様々な施設で活躍されている方の講演を聞いて一番考えさせられたのは「個別支援計画とは誰の為にあるのか」ということです。

計画は利用者さんのご家族との話し合いで決められることが多く、本人のよりご家族の意向が強い計画になることが少なからずあります。重い障害があっても必ず好きなことややりたいことはあるし、「障害が重いから話し合いに参加しても話が分からない」ではなく「本人の計画」なので本人と一緒に計画をし、本人が次年度の計画書に印鑑を押したくなるような計画を作りたいと思いました！！

東北地区の同じ志の仲間達との親交も深め、有意義な研修になりました！

冷麺、ジャージャー麺、福田パン、岩手の地酒やワインも美味しかったです←ここ重要。

(記：松原)



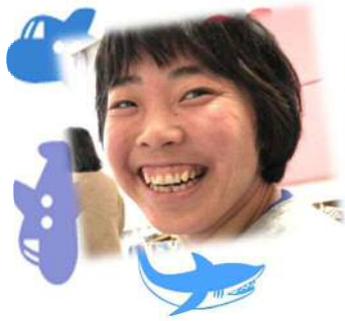
## 研修報告 河北新報の一番長い日

9月12日の夕方、宮城県障害福祉センターにて法人全体研修がありました。今回の講師はローカルジャーナリスト、尚絅学院大客員教授で河北 TBC カルチャーセンター代表取締役の寺島英弥さん。寺島さんは東日本大震災当時、河北新報社に所属しており、混乱の被災地で情報を守るため奮闘した方です。前段では「河北新報のいちばん長い日」を上映。河北新報は震災を受けた被災者であるにもかかわらず、新潟日報の力を借り休まず新聞を発行し続けました。記者も私達と同じ被災者であり、取材をすることで色々な葛藤があったのではないのでしょうか。被災地に直接行くことも命がけの行動でしたが、新聞を通して助けられた人もたくさんいたと思います。映画を通して、そういった記者の思いの強さを理解することができました。

その後の講演では、実際に取材していた時に気を付けていた点について説明がありました。「言葉」、「表現」、「仕草」、「相手の話を待ってから話始める」、「共感」等。一人の人間として力になりたい、何か手伝うことはないか。何度も現地を訪れ、話を聞き信用してもらうことの大切を熱く語っていただきました。また、犯罪被害者遺族が癒されるためには3つの「T」があり、「TIME（時間）」「TALK（語ること）」「TEAR（涙）」だという解説もありました。

そんな中一番印象的だったのが、「障がいの当事者の方やご家族も訴えたい事はたくさんある。その思いをうまく文章化できないし、そんな場所もない。できない時は助けて欲しい。思いのピースを一つ一つ引き出して形にするのが記者（支援者）の仕事で、それを見てくれるのが読者である」と熱弁していた寺島さんの姿です。

今回の研修では、なかなか接する事ができない記者の視点や考え方を知る事ができました。この貴重な経験を自身の仕事にも活かしていきたいと思いました。(記：櫻井)



# CLOSE - UP !!

## けやきグループの尾崎有さん

『尾崎有さん』の名前を聞くとニコニコ笑顔の元気っ娘というイメージを持つ方が多いのではないのでしょうか？有さんは、誰にでも「元気？」や「おはよう！」と声をかけてくれる、とってもフレンドリーな女性です。そんな有さんが好きなことをいくつか紹介していきます。

ひとつ目は、ドラマ「コードブルー」です。もともと医療系ドラマが大好きな有さん。コードブルーを真剣に見た次の日は、つどいの皆に「おふね！」と有さんの伝え方で、「コードブルー、面白かったよ！」ということ伝えてくれます。ふたつ目は、お出かけすることです。有さんはマクドナルド、ケンタッキー、ラーメン屋さん、ケーキ屋さん…いろんなお店に行くことが大好きです。お店の雰囲気を楽しんだり、食事を楽しんだり、そこで働いている店員さんとお話することが大好きで、自分から「ケーキ！（このケーキ、美味しそうだね！）」と話しかけに行きます。そして、みつつ目の好きな物は、可愛い動物のぬいぐるみやディズニー（特にミッキーとミニー）です。つどいにも毎日のように、サメの「かなちゃん」をお供に連れて通所されています。「かなちゃん、今日はいるの？」と聞くと「かなちゃん！」と紹介してくれますよ！

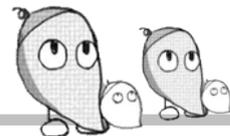
色んな方と関わるのが大好きな有さん。つどいの家に立ち寄った際は、けやきで毎日の活動を楽しむ有さんに是非会いに来てくださいね！（記：竹浦）



## 今回の職員コラムは、不思議な魅力をもつ もみじグループの八鍬 祐(やくわ ゆう)さんです。

私は格闘技が好きで、学生時代から試合を見に行ったり、ちょっとした格闘技系サークルに入って初段を取得したり(信じてもらえないかもしれませんが)していましたが、今は体が動きません。動画を見るとやってみようと思う時がありますが、しかし予想以上に体が動きません。実際にやるより見る方が好きなのかもしれません。最近は空手の師範が色々な武道にお邪魔して体験する動画にはまっています。お互いの良さを認め合い、新たな気持ちで学ぶことの大切さを感じます。いつになっても初心を忘れないことが大事だとその動画を見て感じました。仕事をする上でこういった気持ちを常に持ち続けていきたいです。こんな感じです。ありがとうございました。（記：八鍬）





## スケジュール schedule

### 12月



- 5日(木) ドロンデー555
- 7日(土) 実践報告会「すてーじ」
- 11日(水) イエローレシート
- 12日(木) 研修報告会
- 16日(水) ドロンデー555 チーフ会議
- 18日(金) アロマゆるっと、長岡屋プラス  
防災訓練③
- 19日(木) 施設懇談会 救命救急講習
- 20日(金) 職員会議
- 27日(金) ケース会議 (13:30 降所)  
プレミアムドロンデー
- 28日(土) ~1月5日(日) 年末年始休館

### 1月

- 6日(月) ドロンデー555
- 10日(金) 無線訓練
- 15日(水) ドロンデー555
- 16日(木) チーフ会議
- 17日(金) 施設懇談会
- 20日(月) 職員会議
- 27日(月) ケース会議 (13:30 降所)
- 31日(金) プレミアムドロンデー



## 缶回収 9月の納品額

合計 1,381 円でした。

ご協力有難うございました。



## 編集後記

紅葉も終わり、冬が近づいてきましたね。皆さんいかがお過ごしでしょうか。私は紅葉やイルミネーションを見に行ったり、秋・冬のスイーツを食べに行ったりと季節を感じられるお出かけをしてリフレッシュしています。お家では寒がりなので、こたつとストーブを引っ張り出してぬくぬくしながらみかんを食べ過しています。至福のひと時です(o^ー^o)! さて、仙台つどいの家では3大イベントの3つ目「すてーじ上映会」をせんだいメディアテークで12月7日に行ないます。寒さが厳しくなってきましたが、「すてーじ」を見ると心が温かくなると思います! 皆さまのご来場心よりお待ちしております! (今川)

## ご協力ありがとうございます

## ボランティアとして協力して頂いた皆様

(9月13日~11月12日まで)

工藤さん、吉田さん、シルビアさん  
京子さん、山舘さん、

## 見学・来訪者など

河東田さん(浦和大学)、金森さん、加藤陸人さんとお母様(見学)、ブルームビルド(ご寄付)、佐藤宮子さん(レスパイト実習)、横田さん(小松島包括支援センター)、山形県知的障害者福祉協会(9名見学)、アドフォート(島田さん)、フラッツ201、東北自動車共済ロードサービス、セトヤサプライ、今庄青果、マルイ、マルキ水産、エニシフルコンサルティング、ハート総合自動車、仙台大気堂(小野さん)、ダスキン、ホシザキ東北、JCI(瀬戸さん)、

法人職員: 児玉、小林、押切、檜山、加藤(彩)、佐々木、大累、佐吉、三浦、今井、川口、伊達、村上、猪瀬、加藤、佐藤、阿部ほか

(以上、ご芳方順不同)